

平成25年12月27日
水 産 庁

水産物の市況について(平成25年12月及び平成26年1月)

—東京都中央卸売市場における平成25年12月(平成25年11月21日～12月20日集計)の市況と、
平成26年1月の市況見通し(前月との比較)—

I 平成25年12月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計)は前月と比べやや増加となり、卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)はやや強含みに推移しました。

II 平成26年1月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

入荷量は前月と比べやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。(主漁場は、三陸北部沿岸、犬吠埼沿岸、山陰沿岸)

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は冷凍原料、製品ともに需要期を過ぎ、前月と比べ減少すると見込まれるものの、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

入荷量は前月と比べやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。(主漁場は三陸中南部沿岸、犬吠埼沿岸、駿河湾～伊豆諸島周辺、山陰沿岸、九州西方海域、新潟沖。)

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

入荷量は前月と比べ減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。(主漁場は犬吠埼～房総沿岸、九州西方海域、山陰沿岸)

「まぐろ(冷凍品)」

入荷量は需要の最盛期を過ぎることから、赤身類、脂身類ともに前月と比べ減少すると見込まれるものの、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み、横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	12 月		前 月		前 々 月	
	入荷量	価 格	入荷量	価 格	入荷量	価 格
24年	50	984	48	892	45	858
前年	52	894	51	799	49	783

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	12 月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	505	63	122	121
さけ・ます(平均)	774	99	155	120
(ぎんざけ塩蔵品)	735	100	129	108
(あきさけ塩蔵品)	630	100	114	121
(ときさけ塩蔵品)	900	100	112	99
(べにざけ塩蔵品)	1,050	100	110	104
(さけ類冷凍品)	760	100	177	133
さば(生鮮品)	445	98	119	107
するめいか(平均)	450	111	106	115
(生鮮品)	428	107	94	106
(冷凍品)	528	124	142	154
あじ(生鮮品)	567	113	98	117
まぐろ(冷凍品)	1,105	92	79	75
(めばち冷凍品)	912	100	97	87
(きはだ冷凍品)	797	99	85	84
(くろまぐろ冷凍品)	3,150	100	84	90
(みなみまぐろ冷凍品)	1,715	103	77	80

注1:品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2:12月の価格は1～20日までの速報値。平年とは平成20年～24年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ、アトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6617 岡野、庄田

直通 03-3591-5612